

編集後記

今月号から連載が三本新たに登場する。矢野先生のスリリングな教育論、庄籠先生による童話のようなドキュメンタリー、そしてシリーズ「私の通った幼稚園・保育園」、春風のように新鮮、と感じていただけるとありがたい。

「あたらしい」を主題に、領域の異なる方々から文章を寄せていただいた。過去と未来を変化でつなぐ文脈の上に「新しい」があり、希望や期待を折り重ねて、大人はそこに子どもを託す。四月は入園、入学を目前にして、ときに当の子どもをよそに喜びはしゃぐ大人の姿を見かける。子どもの方が大人に合わせる

くれているような気もしてくる。

新しい命を迎える者として、助産師の赤澤先生は「手のぬくもりを与え、感じあい、抱きしめる」ことの大切さについて書かれた。子どもという存在の新しいさについて目が引かれがちになる中で、周囲の大人が「急がなくてもいいよ」とその存在を抱きしめてやる余裕が必要なのだと思つた。過去の時間を子どもより多く持っている保育者が、いつも子どもと新しく出会うことは難しい。しかし逆に、古い面を持つているから、子どもの新しさを前にしていとおしく思えたり元気が出たりするのかもしれない。子どもと向き合う時間を持っている大人は恵まれていると思いたい。映画「誰も知らない」の母親は、子どもから離れて新しくなろうとしたのだろうか。(浜口)

幼児の教育

第一〇四巻 第四号

(二〇〇五年四月号)

定価五五〇円(本体五二四円)

発行 平成十七年四月一日

編集兼発行人 浜口順子

発行所 日本幼稚園協会

〒112-8610 東京都文京区大塚二-1-1

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-8620 東京都港区三田五-2-1

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込

六一-四一九

〒〇三-五三九五-一六六一三(営業)

〒〇三-五三九五-一六六〇四(編集)

振替 〇〇一九〇-11-19640

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所「フレーベル館」にお願いいたします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。